

ざぶとん材裏込め工法

[施工時の注意事項]

1. 不陸の高さ

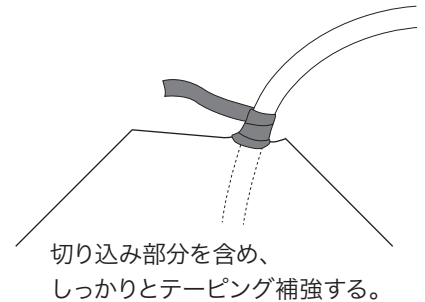
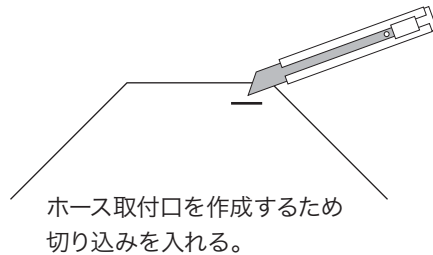
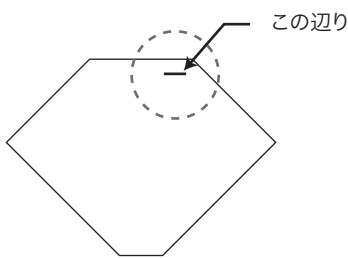
不陸の高さは、約10cm程度まで可能ですが、部分的凹みなどには、まくら材を併用します。

2. ざぶとん材の固定

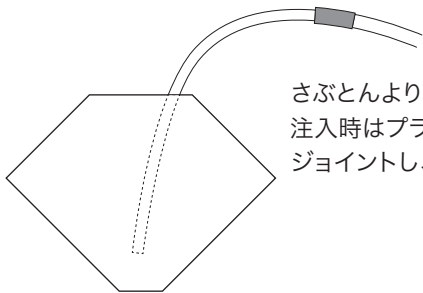
ざぶとん材周囲の縫い代外側を、釘やアンカーピンなどで固定しますが、縫い目や縫い代内部に穴を開けないように注意してください。(型式によっては紐などで固定する)

3. 注入ホース

- ① 注入ホースは、ざぶとん材の端部をカッターなどで切り、注入ホースを差し込みます。口元をビニールテープなどでしっかりテーピング補強します。



- ② 注入材が奥の方まで充分に行き渡るよう、注入ホースを奥まで差し込みます。



注入後のホースは、先を結束線で絞り、セメントミルクの硬化を待つ。(養生時間は24時間)

3. 注入圧力

- ① 注入ポンプ **吐出量を小さくして袋体内の中の空気・水分が出るようにゆっくりと注入** します。
- ② 注入圧力は **ほとんど圧力をかけない状態で流し込み** ます。
※注入圧力をかけすぎると、ざぶとん材が破れることがありますのでご注意ください。
- ③ 袋体下部が膨らんできたら、注入を止めて **数回にわたり様子を見ながら注入** してください。